

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>特別会計</b>		<b>事務事業分類</b>	<b>簡易点検</b>
<b>事務事業名</b>	地域介護予防活動支援事業(自主運動グループ育成)	<b>シート番号</b>	A 一般事務事業
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 長寿社会 部 地域包括ケア推進 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	阿加井

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	平成18年度介護保険法改正により市町村が実施することとなった。平成27年度から堺市社会福祉協議会が行う事業への補助金である「地域のつながりハート事業への補助金」を本事業で執行している。(上記事業は平成11年度から実施)平成30年度から「地域のつながりハート事業への補助金」以外の事業については地域支援事業の地域介護予防活動支援事業として実施する。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	介護予防につながるボランティアグループや自主運動グループに参加する高齢者の活動支援を行う。			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防(介護予防)を図る。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	地域の介護予防を目的とした自主的な取り組みをサポートするため、介護予防に資するボランティアグループや自主運動グループ等を育成支援する。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

**Ⅲ. 投入量**

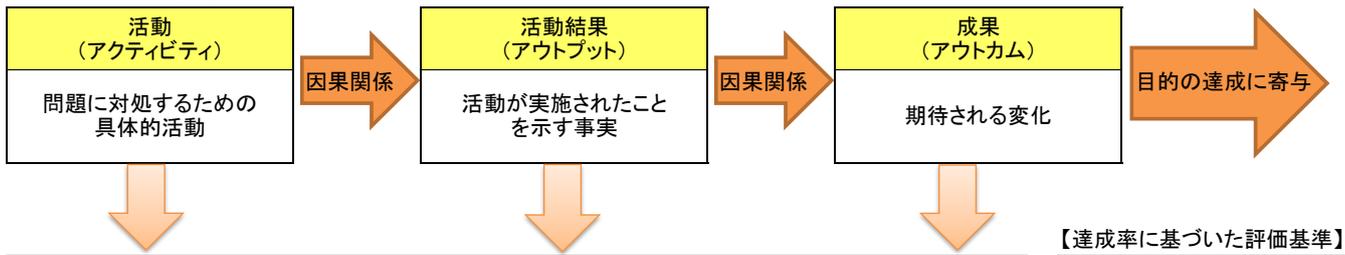
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	651	682	495	844	
	主な事業費内訳	報償費	千円	308	341	231	329
		その他	千円	343	341	264	515
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	244	255	186	316
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( 被保険者保険料 )	千円	325	341	247	422
		一般財源	千円	82	86	62	106
	12	人件費 (b)	千円	330	340	340	340
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	981	1,022	835	1,184

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域介護予防活動支援事業(自主運動グループ育成)	シート番号	11-267
-------	--------------------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>介護予防を目的に開催する複合型介護予防教室や講座参加後、参加者が自主的に継続して介護予防に取り組むことができるよう、各区において、OB会の立ち上げやグループ活動の継続支援を行った。活動を継続できるように保健師や理学療法士等による保健センターでの健康教育や公民館等への講師派遣等の後方支援を行った。また、グループが地域の身近な公民館や施設等を活用して、脳トレ、運動、認知症サポーター養成講座の受講等の活動を行った。 新規活動グループの増加に伴い、支援実施回数も増加した。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		グループ育成支援実施回数	回	目標値	50	50	100	100
				実績値	56	85	96	
				達成率	112%	170%	96%	
	評価	良い		大変良い	普通			
	算出方法・設定根拠など		介護予防に取り組む自主活動グループの継続支援回数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		グループ育成数	グループ	目標値	8	8	8	8
				実績値	8	8	13	
				達成率	100%	100%	163%	
	評価	良い		良い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など		介護予防に取り組む新規の活動グループの育成数					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17		本市が開催している介護予防に資する教室参加後、参加者自らが自主的に継続して介護予防に取り組むことができるよう、各区において、OB会の立ち上げや育成支援を行うことができている。教室参加中から修了後の活動について、参加者相互で話し合う機会を持つなど、運営面において工夫したことが、活動への意識づけにつながったと考える。 自主活動グループの立ち上げは、参加者が高齢であることから、大幅な増加は困難である。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。